

平成28年度 当初予算

人口減少対策(移住・定住促進)・ 子育て支援に重点

一般会計予算規模は49億6,200万円

一般会計の総額は49億6,200万円。移動系防災行政無線のデジタル化、わかぶな高原スキー場のリフト改修をはじめ、桂の関温泉ゆ〜むの設備改修、せきかわ歴史とみちの館の空調設備改修などの投資的経費の増加によって、昨年度よりも1億9,300万円多い積極型予算となりました。

また、全国的な課題である人口減少対策(移住・定住促進)として空き家バンク事業の確立、婚活支援事業の実施、移住・交流に関心を高めてもらうための村内シンポジウムの開催などに取り組みます。

さらに保育園での多子世帯の保育料負担軽減、関川小中学生を対象とした学校給食費補助、高校生及び中等教育学校生を対象とした通学用定期券の補助などを充実させ、切れ目のない子育て支援に取り組んでいきます。

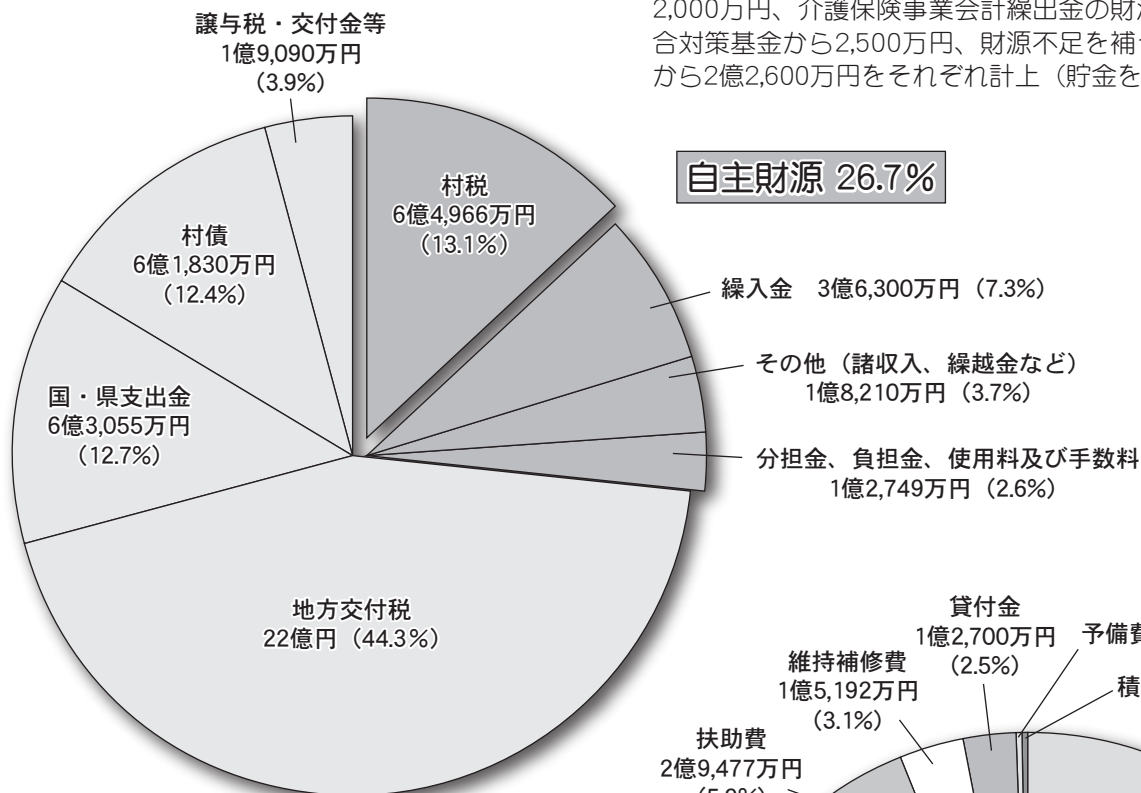
■各会計の当初予算

会計名		平成28年度予算	平成27年度予算	前年比	
				増減額	増減率
一般会計		49億6,200万円	47億6,900万円	1億9,300万円	4.0%
特別会計	国民健康保険事業特別会計	7億5,000万円	7億5,000万円	0万円	0.0%
	国保関川診療所特別会計	6,230万円	6,340万円	▲110万円	▲1.7%
	介護保険事業特別会計	10億530万円	10億720万円	▲190万円	▲0.2%
	後期高齢者医療特別会計	5,930万円	6,430万円	▲500万円	▲7.8%
	村有温泉特別会計	660万円	1,810万円	▲1,150万円	▲63.5%
	宅地等造成特別会計	210万円	220万円	▲10万円	▲4.5%
	簡易水道特別会計	3,920万円	4,820万円	▲900万円	▲18.7%
	公共下水道事業特別会計	4億3,900万円	4億5,800万円	▲1,900万円	▲4.1%
	農業集落排水事業特別会計	1億600万円	9,400万円	1,200万円	12.8%

水道事業会計		平成28年度予算	平成27年度予算	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	1億874万円	1億879万円	▲5万円	0.0%
	支出	1億864万円	1億869万円	▲5万円	0.0%
資本的収支	収入	120万円	1,000万円	▲880万円	▲88.0%
	支出	7,785万円	9,108万円	▲1,323万円	▲14.5%

歳入 (一般会計)

49億6,200万円



依存財源 73.3%

●線入金

下水道会計や水道会計など、料金収入で賄いきれない特別会計に対して支出するものです。

その他国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計などに対する、法律に基づいた村の負担金も含まれています。

●公債費

公債費とは借金返済額のことです。前年度より1,890万円減少しています。

●投資的経費

道路、橋りょうなど各種社会資本の新增設を行う際の経費です。国の社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している消雪パイプの更新事業や橋りょう点検など、前年度よりも5,523万円増加しています。

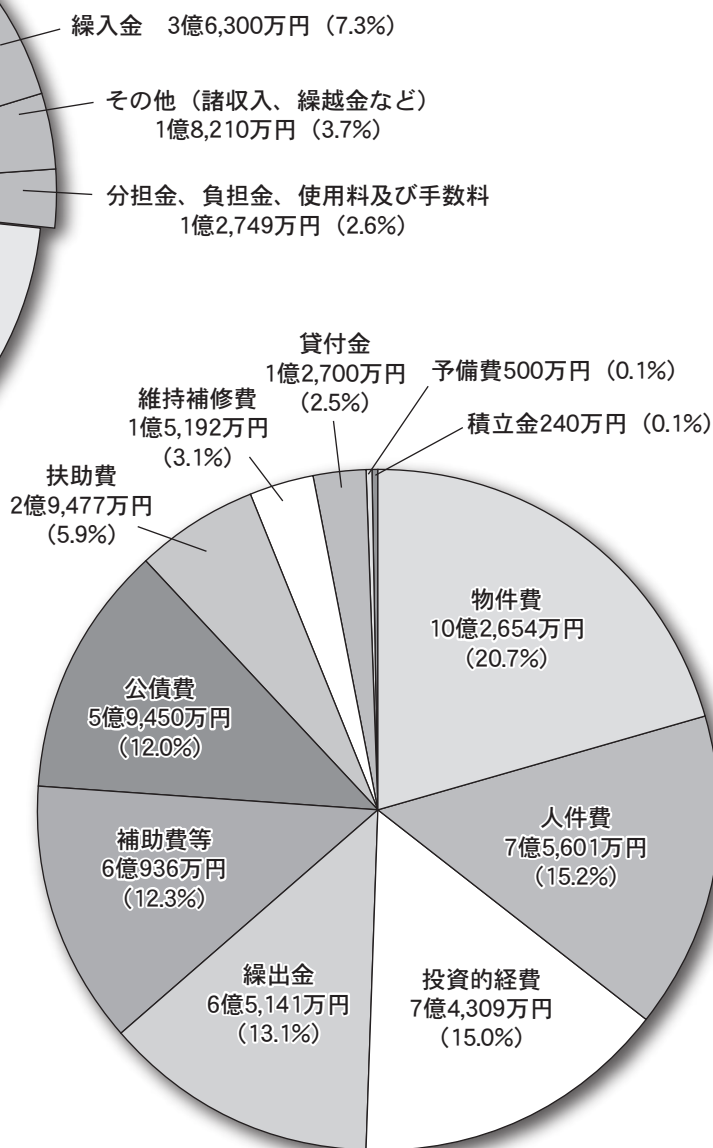
●村税

固定資産税は3億9,836万円。村民税は1億7,431万円、たばこ税は3,894万円、入湯税は1,796万円、軽自動車税は1,802万円となっています。

●繰入金

主なものは、わかぶな高原スキー場リフト改修工事の財源として商工観光振興対策基金から4,650万円、荒川郷ごみ焼却施設解体事業負担金の財源として環境衛生施設整備基金から2,000万円、介護保険事業会計繰出金の財源として社会福祉総合対策基金から2,500万円、財源不足を補うため財政調整基金から2億2,600万円をそれぞれ計上 (貯金を取崩) しました。

自主財源 26.7%



歳出 (一般会計)

49億6,200万円